

平成29年度 **大浦小学校の歩み**



一人一人が夢をもち、生き生きと活動し
学びと感動を実感できる学校づくり

三条市立大浦小学校

〒955-0166 新潟県三条市上大浦666番地

電話 (0256) 46-2018

FAX (0256) 46-2170

E-Mail ourasyo@ed.city.sanjo.niigata.jp

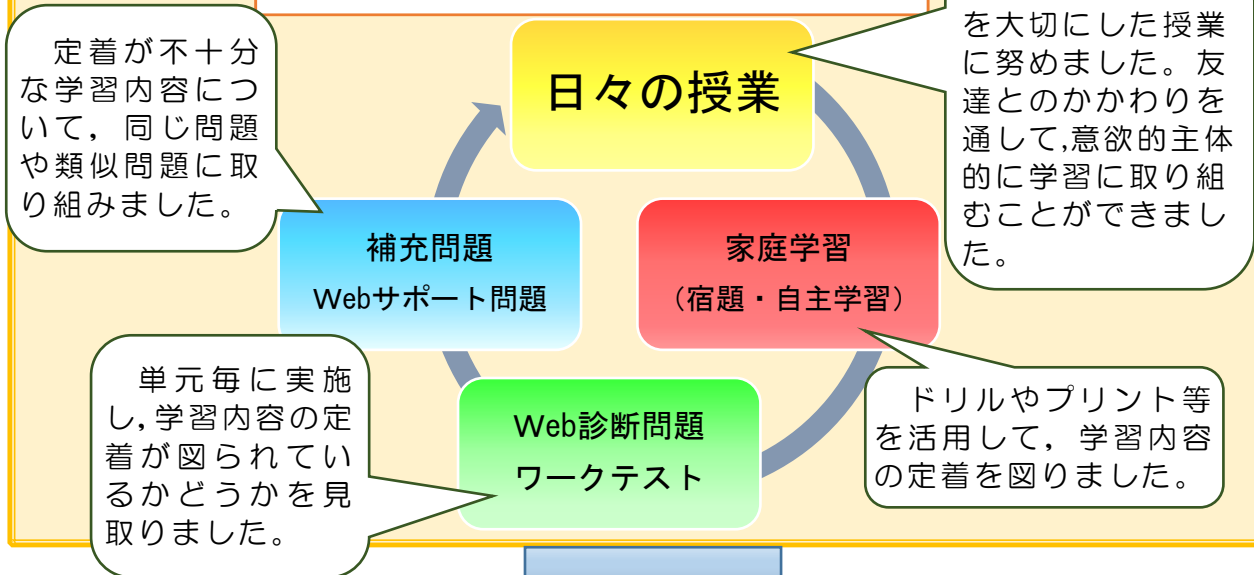


平成30年3月

学力向上に向けた取組(知)

～基礎・基本と思考力・判断力の向上を目指して～

大浦小学校の『学習スタイル』



よく考え表現する子

学びを支える日常的な取組

朝読書

月・金曜日の朝、全校が集中して読書をして、落ち着いた心で一日を始めることができました。

Web タイム

Web 診断問題や Web サポート問題、過去問題等に取り組みました。1・2年生は、プリントやドリル等を使って学習しました。

音読タイム

文章を読む力を高めるために音読をしたり、暗唱したりしました。

個別タイム

木曜日の昼、学習の理解・進度に応じた個別の課題・指導を行いました。

スピーチ朝会

1人1回、学校行事、各教科や道徳等の体験や学習で考えたことや感じたことなどを、全校に向かってスピーチしました。聞き手が感想を伝えることで、心の成長の自覚をより一層促すことができました。



家庭での学習と本に親しむ取組

- (1) 家庭学習の習慣が身に付くように家庭学習・読書強調週間を設定しました。(年間4回)
- (2) 三条市立図書館や大いちょうグループ・図書委員会と連携して、本に親しめるようにしました。

家庭学習・読書強調期間(6月・9月・11月・2月)

～家庭学習の習慣の定着，読書に親しむ環境づくり～

家庭学習・読書強調週間の流れ

前半 家庭学習に重点

- 全校国語・算数テストに向けた計画的な学習
- 決められた課題＋自主的な学習に取り組むための家庭学習カードの活用

後半 読書に重点

- 宿題・自主学習としての読書
- 読書の足跡を残す「読書カード」
- ブックトーク(市図書館)や読み聞かせ(上学年)，おススメの本紹介(児童)による意欲の向上

家庭学習の取組

家庭学習のやくそく

- ① 家庭学習(学年×10分以上)
- ② 音読・読書タイム
- ③ 家庭学習カード(自己評価)

【学校では…】

- 家庭学習タイム
家庭学習の内容・時間の計画
- 家庭学習カードの点検
子どもに合った励ましや賞賛

【家庭では…】

- ノーマディアタイムの協力
家庭学習に集中させる環境づくり
- 家庭学習カードの点検
自信のもてる励ましや賞賛

読書について



大いちょう読書会



ブックトーク

上学年の人から、本の読み聞かせをしてもらったよ。

上学年による

リーディングパーティ



教師も、子どもたちと一緒に学んでいます

「よく考え表現する子」を育てるために、**研究授業**や日々の**授業改善**、**職員研修**をとおして私たち職員は、学び続けています。今年度は「子どもが意欲的に考える授業」を目指し、国語を中心とした授業研修を積み重ねてきました。

○研究授業の流れ…単元の前半と後半で、1人2回の公開授業をしました。

【指導案作り】

子どもたちの実態を分析し、研究授業を行う学習内容を決めます。そして、授業者が授業の進め方や支援を考え、「指導案」を作ります。

【指導案の話し合い】

どんな手立て（発問の工夫・話し合いのさせ方）で、子どもたちに力を付けるのか、職員が考えを出し合います。

○授業改善



子どもが考えたいくなる課題になっているか？

【プレ授業】

同学年部職員が参観します。

子どもたちが目を輝かせて授業が進むように、これからも職員で力を合わせて学び続けます。

【指導案検討会】

後半の授業について話し合います。

【公開授業】

全職員と教育委員会の指導主事が授業を参観します。

【まとめの共有】

公開授業で学んだことを共有し、日々の授業に生かしていきます。

【協議会】

成果と課題を明らかにします。指導主事から、授業についての指導もあります。

武井正明指導主事

(オーダーメイド訪問)



先生が、様々な教材や子どもの様子や授業の進め方について話し合い、考えを出し合うことは、子どもたちの力と共に先生たちの力を高めます。

学習が苦手な子どもも意欲をもって取り組める支援の工夫は、全ての子どもたちにとって考えやすくなる有効な支援になっています。

池田岳康指導主事

(学習指導訪問)



国語 社会で求められる思考力・表現力・判断力。それらをつけていくために基礎となるのが言葉，そして国語の力です。国語は全教科に通じます。本年度も指導主事を招いて，子どもたちが意欲的に学んでいくための授業の組み立て方や支援について研修を行いました。

1年「いろいろなふね」

段落ごとにばらばらにした本文を正しく並べかえることで，船の特徴を読み取りました。本文を傍線を使って色分けすること，本文から大事な言葉を探すこと，船の写真をよく見ることを手がかりにして，班ごとに話し合いながら，並べ替える学習を通して，船の特徴をより深く読み取ることができました。



2年「名前を見てちょうだい」

繰り返される言葉や展開におもしろさを見つけ，登場人物になった気持ちで物語を読みました。何度も音読を行い，班ごとに登場人物になりきって動作をしたり，赤白ぼうしを使ったりしながら音読発表をしました。お互いの班の発表を聞いてその感想を書きました。



3年「サーカスのライオン」

物語の大枠をとらえた後，叙述に沿って丁寧に読み進めました。中心人物の行動や物語の結末について，自分と違う感じ方をしている友達の意見を聞き，交流することで，作品の主題にせまることができました。一人一人が感じたことを発表し，主体的に読むことができました。



4年「走れ」

物語の場面ごとに中心人物の気持ちをとらえるという進め方ではなく，文章の内容をおおまかにとらえて，必要なところを詳細に読むという進め方で学習しました。それにより場面をまたいだ伏線にも気づき，中心人物の複雑な気持ちを深く読み取ることができました。



5年「世界で一番やかましい町」

物語全体を読み，何がどう変わったかを話し合い，考えました。世界で一番やかましい音を聞くという王子の願いをかなえる試みが，反対に沈黙を作り静かで平和な町へ大きく変えたことを読み取り，4年生に物語の紹介文を書きました。



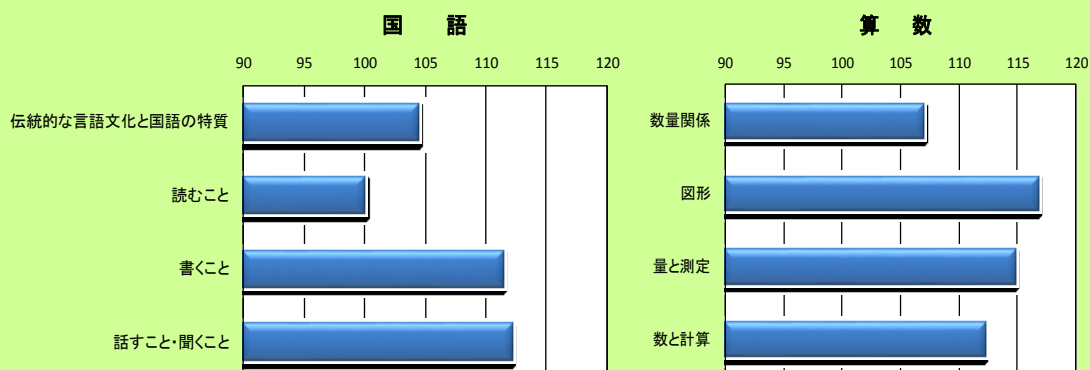
6年「町の幸福論」

説明文を俯瞰的に読み，文の構成を捉えました。キーワードに着目することでより詳細に内容を理解し，要旨を捉えることができました。自分が考える幸福な町について，市役所の職員にプレゼンテーションを行い，三条市の町づくりについて提案しました。



各種テスト結果から見た大浦小学校の学力状況

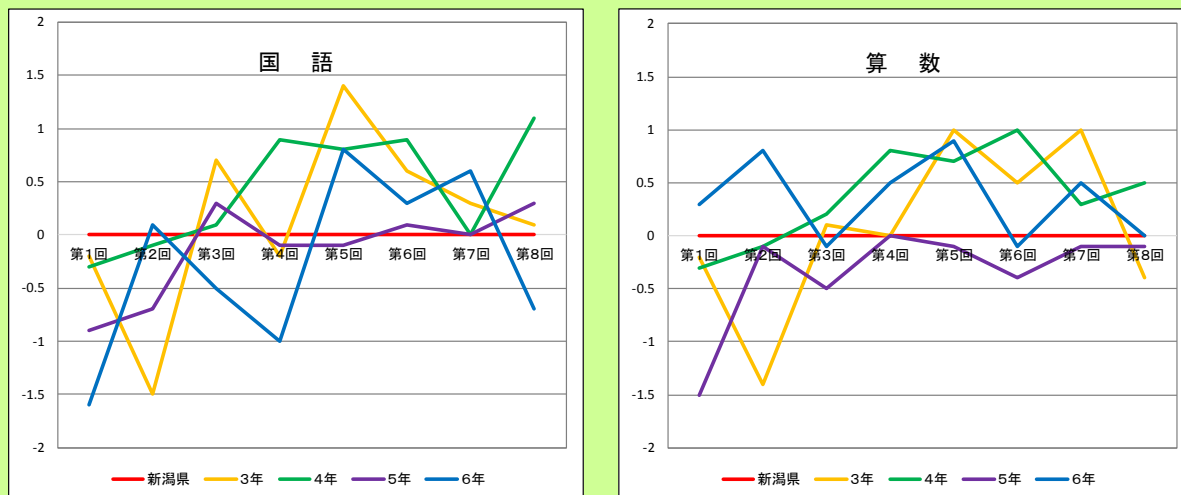
① 標準学力検査NRTより ※ 4月実施



NRTは前学年の学習内容が身に付いているかどうかを調べる検査で、100が全国標準の数値です。グラフを見ると、どの内容も全国標準を上回り、国語よりも算数を得意としている児童が多いことがわかります。

数値的に低く見える国語「読むこと」でさえ全国標準と同じという好成績でしたが、詳細に調べていくと、学年差や個人差が大きい面があるため、個に応じた指導を重視して取り組んできました。

② Web診断問題より（県平均との比較） ※ 5～3月実施（計10回）

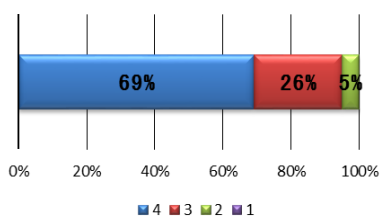


国語、算数ともに、初めの頃は県平均を下回る学年が多く、実施回数を重ねるにつれて県平均を上回る学年が多くなっていきました。大浦小学校の『学びスタイル』によって、問題の解き方や考え方が身に付き、着実な学力の向上が図られてきたと言えます。一方で、グラフの変化に顕著な様子が見られます。Web診断問題が学習内容毎に出題されることから、学習内容によって得意・不得意がはっきりしていることとなります。県平均を下回った学習内容については、授業で再度取り上げて復習をしたり、Webサポート問題に取り組んだりするなどして、児童の学力の定着を図ってきました。

児童アンケート

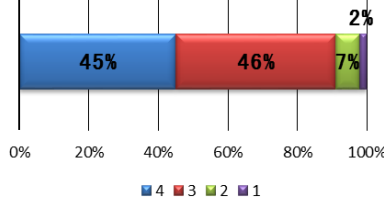
■ 4 そう思う ■ 3 大体そう思う
■ 2 あまり思わない ■ 1 思わない

学習したことがよく分かりましたか。



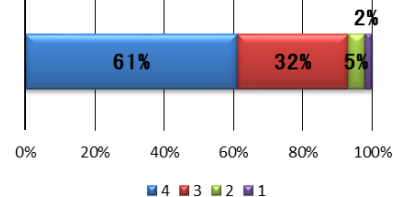
学 習

よく考えて自分の考えを発表したり表現したりしましたか。



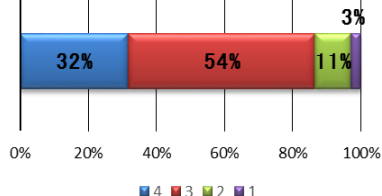
発 表

家庭学習を「学年×10分」取り組むことができましたか。

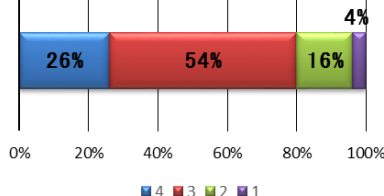


家庭学習

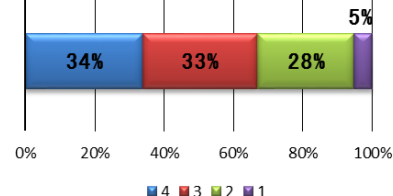
読み書き計算などの基礎学力が身に付いている。



自分の考えを進んで発表する。



宿題や自主的な学習など、家庭で学習する習慣が身に付いている。



保護者アンケート

児童・保護者アンケート結果から ※ 12月上旬に実施

- ◆ 学習や発表に対する児童の自己評価と保護者の評価は、肯定的な評価（3，4の評価）の割合が約80%以上と、概ね良好な結果となりました。肯定的な評価の割合を維持しつつ、4（そう思う）の評価の割合の増やすこと、1（思わない）の評価をなくすことなど、職員一丸となって指導に取り組んでいきます。
- ◆ 評価は、保護者より児童の自己評価が高くなる傾向にあります。 「自分ができる・できている」という自己肯定感は、新たな活動に向かう原動力となります。 今後も約95%の高い数値が維持できるようにしていきます。 一方、保護者の評価は低くなる傾向があり、お子さんに対する期待の表れであることが多いです。 保護者の皆様は、成長や頑張りを実感として感じられるよう、一人一人のお子さんに合った指導や支援を工夫したり、伝えたりしていきます。
- ◆ 児童と保護者の評価で大きな差が認められるのは、家庭学習についてです。 肯定的な評価の児童が90%超にもかかわらず、保護者の評価は約65%と25%もの開きがあります。 宿題の他に、読書したり新聞を読んだりするなど自主的な学習を奨励し、家庭学習の習慣化が一層図られるよう、努めて参ります。

大浦^{まづな}希繫プロジェクト

～ふるさと大浦に愛着をもち、未来を力強く切り拓く子どもの育成～

「生活・総合」の取組

1年 生活科「おおうら だいすき」



季節ごとにグラウンドを探検し、植物や生き物を見つけ、大浦の自然のすばらしさを感じました。

カンゾウの苗植えや鮎の放流活動では、地域の方々の温かい気持ちに触れることができました。生活科の学習を通して、大浦の良いところをたくさん見付けました。

2年 生活科「わたしたちの町たんけん」

自分たちの町を再度”探検、発見”するために、町探検を行いました。自分たちの町でも歩いてみると新たな発見がたくさんありました。また、初めて自分たちだけで切符を購入し電車に乗る経験もしました。様々な活動を通して、より自分たちの町に愛着が持てました。



3年 地域学習「熊堂山でサバイバル」

熊堂山の自然素材を使い、秘密基地を作りました。また、熊堂山を歩きながら、実をつける植物を探し、おやつ作りをしました。かつては、地域の人々の生活に密着して存在していた熊堂山を肌で感じながら、活動しました。



4年 環境学習「笑顔いっぱいたんけん隊」



大浦地区の小川で生き物を採取し、川への愛着を深めました。小川は五十嵐川に繋がることを理解し、五十嵐川漁協の飯塚組合長さんから五十嵐川の問題点についてお話を伺いました。「きれいな川にしたい」という飯塚さんの思いに共感し、クリーン作戦を行いました。

5年 米の学習「米作りの今・昔」

米作り体験をした後、農業機械の製造工場では、最新の機械を作る工程の見学やバーチャル体験をし、今と昔の農作業の違いを実感できました。また、老人会の方々からわらで縄ないを教えていただき、手作りの大変さやよさを見直しました。



6年 キャリア教育「自分探しの旅に出よう」

三条で活躍されている方々から話を聞き、働くとは何かについて考えました。働くとは、楽しいこと、やりがいがあること、自分も人も幸せになることを知りました。将来の自分について考え始めました。



「徳」 豊かな心の成長 ～学校行事の取組と作文指導～

学校行事



大いちょうフェスティバル



大浦大運動会



全校弥彦山登山

活動

次への意欲・よりよい成長へ

作文

1つ目にわたしががんばったことは、絵の作ひんです。こまかいところをかく時、はみださないようにドキドキしながらかきました。

2つ目にがんばったことは、やたいを作るとき、みんなできょうりよくしながら作ったことです。6年生といっしょにせつ明を書きました。じゅんびをしている時、みんながいっしょうけんめいに書いているから、わたしもがんばろうと思いました。

つぎの学年になっても、じゅんびをがんばりたいです。

ぼくは今年もおうえん団でした。うれしかったです。けれど練習はきつかったです。

本番ではすごくきんちょうしました。最初におうえん合戦をしました。ぼくはこれまでに出したことのない声でがんばりました。息がなくなるほどきつかったです。その後に友達としゃべったら、のどがカラカラでした。

午後のおうえん合戦をしました。げんかいの声をしました。

結果発表では、そう合ゆう勝はとれませんでした。でも、おうえんゆう勝がとれたのでうれしかったです。

ぼくのめあては、低学年だけではなく、中学年も並ばせたり、がんばれなどの声をかけたりすることでした。そのためには、まず、自分が並んでないといけないし、弱音などをはかないようにしなければいけないと思い、がんばりました。

(中略)

とちゅうから、1年生がおくれて、後ろの方にさがってきました。ぼくは何度か、「がんばれ。」や「もう少しがんばれば休けだよ。」などと、声をかけることができました。自分も声をかけることができて良かったし、1年生もがんばってくれて、とてもうれしかったです。

最初から最後まで集中して絵を描いていました。その集中力と物事に向き合う姿勢は、これからも持ち続けましょう。来年もがんばりましょう。

限界の声を出してがんばったこと。これは、これからずっと、自分の宝物になることでしょう。本当によくがんばりましたね。

下学年に励ましの言葉をかけてくれたから、みんなが頂上まで行くことができたのですね。まずは『自分がする』という意識をもっていることは、さすがです。

励まし・賞賛

大いちょう活動

大いちょうグループでは、3つの目標に向かって活動しています。

- ① 人とかかわる喜びを感じ、社会性の基礎を育みます。
- ② 誰かの役に立てたという成就感を感じ、自己有用感を育みます。
- ③ 自分たちの力で問題を解決していく自主的、実践的な態度を育みます。



全校弥彦山登山



大いちょうフェスティバル



大いちょう読書会



七夕飾り作り



かるた遊び



花いっぱい活動



けん玉遊び



ふわふわメール交換

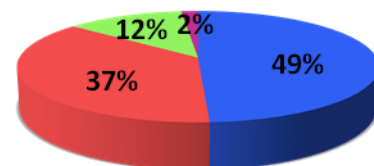
あいさつ運動～ハロープロジェクト～

大浦小学校では、年間を通して「元気のよいあいさつ・返事をしよう」を生活目標にし、「ハロープロジェクト」というあいさつ運動に取り組んでいます。今年度は、「あいさつのリーダーになろう」や「56人とあいさつしよう！」の取組で、自分から進んであいさつをしようという意欲を高めてきました。今後も引き続き、あいさつの向上を目指して取り組んでいきます。

学校生活アンケート（児童）

2学期末実施

だれにでも進んで気持ちのよいあいさつができましたか。



■ たいへんよくできた
 ■ よくできた
■ あまりできなかった
 ■ できなかった

健やかな心と体で めあてを達成する子の育成

体育

楽しく気持ちよく運動できる子の育成に重点を置き、運動への意欲を高める体育カードの活用、運動環境の整備を行いました。また、元Jリーガーの永井さんを講師として招き、サッカーの楽しさを感じさせる活動も行いました。

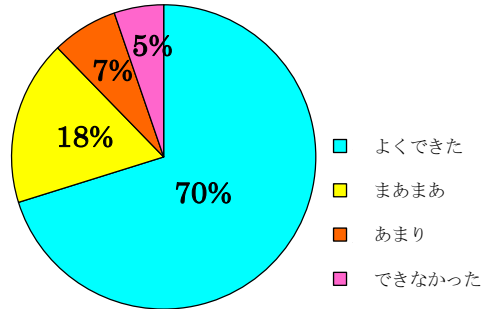


カードを活用したマラソン練習



永井さんのサッカー教室

2学期 児童アンケート
「楽しく、気持ちよく運動できたか」



成果 児童の肯定的評価 88%

保護者の肯定的評価 81%

2つの評価ともにもう少して目標の90%という結果でした。肯定的評価が増えるように、準備体操にダンスの動きを取り入れるなど、さらに工夫して活動していきます。

保健

十分な睡眠時間を確保することを目指して、睡眠の役割や大切さ、早寝をするための工夫などについて学習しました。健康委員会では、児童朝会で睡眠についてのクイズを出し、睡眠をしっかりとうろと呼びかけました。

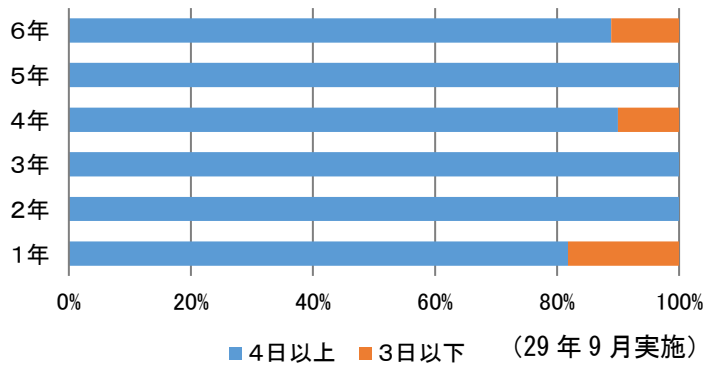


睡眠指導 5年と



健康委員会による発表

元気アップ週間で4日間
睡眠8時間以上達成児童の割合



成果 睡眠5日間で4日間達成 93%

年3回の元気アップ週間で達成率が上がってきました。家庭と連携して、よりよい生活習慣の継続・改善を目指します。

大浦小学校を支える大浦地域・PTAの取組

大浦地域コミュニティ“元気で明るいまちづくり”

「大浦地域コミュニティ」は、平成22年に“元気で明るいまちづくり”をテーマに掲げ設立されました。地域の安全・安心、青少年の健全育成、環境美化、地域活性化は、まちづくりの大きな課題です。これまでの取組をさらに充実・発展させ、活動を行ってきました。

昨年度に引き続き、「三条市コミュニティ支援交付金」を受け、①大浦地区防犯パトロール、②クリスマスイルミネーションin大浦、③環境美化活動、④地域の活性化を図る活動を展開してきました。

子どもの安全・安心のためのまちづくりの取組 ～大浦地区防犯パトロール～

平成29年度の大浦地区防犯パトロール隊は16名です。児童の登下校にあたって、都合のよい時間で「ながらパトロール」を行ってきました。新しい隊員へ自動車用マグネットシートを配付し、防犯パトロールの幟を設置するなどして防犯活動を推進してきました。おかげで、大きな事故やけがもなく元気に登下校をしています。



元気な子ども育成のためのまちづくりの取組 ～クリスマスイルミネーションin大浦～

大浦小学校区育成会では、今年度も伝統あるイルミネーションを設置しました。点灯式には、子どもたちの歌声が響くとともに、各地区の出店やゲームコーナーは大勢の人で賑わいました。新聞社のイルミネーション特集記事に掲載され、県内での知名度もアップしました。期間中には、多くの人々が見学に訪れました。



環境美化のためのまちづくりの取組 ～大浦希繫(キツナ:絆)プロジェクト～

3年目となった「大浦希繫(キツナ:絆)プロジェクト」では、地域住民と児童・保護者・教職員による春・秋の環境整備作業を行いました。熊堂山遊歩道整備、カンゾウの花壇づくり、ピオトープ清掃、樹木の枝打ち、ヒメサユリ球根植え等を行いました。



夢や希望に挑戦する総合学習とそれらを中核としたキャリア教育を進めました。「熊堂山秋の芸術祭2017」、熊堂山マップ制作、校外での体験活動などを行いました。

地域の活性化のためのまちづくりの取組 ～下大浦地区・大浦共和国の取組～

大祭を4月9日、8月16日に実施しました。神楽奉納と後継者育成、用具の維持管理等を行いました。また、升算公園のグラウンドと周辺道路の除草、トイレ清掃・管理に取り組みました。

防災ヘルメット整備を行い、防火・防災意識の向上に努めました。



PTAの取組

春と秋に環境整備作業を行いました。「熊堂山秋の芸術祭2017」では、生活部による大浦体験教室を行い、地域・親子で1215枚のカラー段ボールで巨大モザイクアート「大」浦を制作しました。1月のホワイトフェスティバルでは、保体部による親子ジャンボカルタ大会を実施し、親子(三世代)のふれあいと郷土愛を深めました。

大いちょうF 大浦体験教室・モザイクアート



ホワイトF ジャンボカルタ

